

# 前芝学校の特色

- ① 『言語力』の育成による人間力・学力の向上
- ② 地域ぐるみの教育
- ③ 保小中連携

【15歳の春をみざす子どもの姿】  
 ふるさと前芝を愛し、  
 人と人とのつながりをつくる力をもった子

## 人と人をつなぐ力を育成します。

- 人とかかわる力をつけ、生きる力をつけるキャリア教育の推進
  - 小中9か年の「前芝学校キャリア教育カリキュラム」に沿った活動の推進
    - ・道徳・特別活動・学校行事において、感性や心情、態度のキャリア発達をめざす
    - ・保小中・小中協働行事への参加において、リーダー体験・ビギナー体験を繰り返すことで人間性・社会性を高める
    - ・9か年の段階的なソーシャルスキルトレーニングを行う
  - 身近な人を中心とする多くの人々とのかかわりの場の設定
    - ・コミュニケーション能力を高める
    - ・言語力（表現力・理解力等）を育てる
  - 自分を知り、将来設計をする場面の設定
    - ・自己実現に向けた職業観・人生観を育てる



## 人や社会とのつながりを主体的につくる子

## 施設の共用

- 両図書室の共用
  - 調べ学習の充実、読書の幅の広がり、資料の共有化
- 両特別教室（美術室・図工室・技術室・家庭科室）の共用
  - 単元や授業内容に応じた学習活動の推進
- 両体育施設 = 小（芝生）中（200mトラック）運動場、小中体育館、中武道場「躍進館」=の共用
  - 単元に応じた活動場所の選択、部活動の活性化
- 共用プールの使用
  - プール管理・運営の合理化と安全性の確保

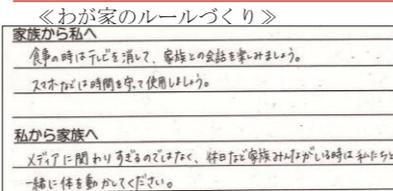
＜前芝すこやか新聞＞



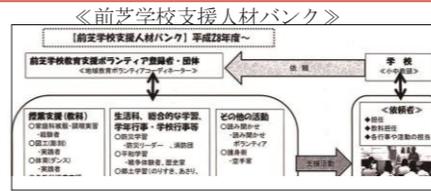
【保小中合同運動会】



【校区・保小中合同防災訓練】



【前芝学校保健委員会】



【保小のふれあい活動】

# つながりのある保小中の指導指針

『前芝学校羅針盤』…学習の取り組み・生活・基礎的運動能力について、園児・児童・生徒の発達段階の特性をふまえた指導指針

## つながりのある学びで学力向上をめざします。

- 『言語力』を高める授業づくりによる思考力・表現力の育成
  - 「前芝学校授業スタイル」の確立
    - ・ねらいをつかみ、解決への意欲を高める「課題の提示」
    - ・話す力を鍛え、考えを深め合う「ペアトーク」「グループトーク」
    - ・明確に示された視点にそって書く「学習の振り返り」
  - 「前芝学校学びの羅針盤」の活用
    - ・国語、算数数学、総合的な学習、道徳の9か年の指導指針に基づいた単元構想・授業展開
  - 英語・英会話の連携
    - ・前芝学校スタンダード版に沿った兼務授業、交流授業
    - ・中学英語教員から小学教員への支援や協働による英語・英会話授業の質の向上
  - 小中教員による兼務
    - ・音楽・図工等で、小中相互の専門性を生かした授業支援（小5・6年生、中学生）
  - 基礎・基本の反復練習
    - ・昼休み後の5分間（小「金次郎タイム」中「どうたくんタイム」）での、読み聞かせ・英語活動・新聞視写・音声発声計算
    - ・発達段階に応じた、からだづくりの保小中一貫自校体操「前芝学校体操」の実践
  - ◆1日の時間帯の工夫
    - ・兼務や交流授業、授業支援のできる小中学校の日課表



## 確かな学力の向上で自信をもち、可能性を広げる子

＜前芝学校羅針盤＞

■前芝羅針盤(生活・運動)～人と人とのつながりを大切にし、自立した子どもを育てるための共通指導事項～

幼稚園	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
○大きな声で挨拶									
○相手の顔を見て話す									
○挨拶に対して乱暴な言葉を使わない									
○時と場に応じた折り返し運動、人に教えるときの態度や言葉遣いが正しい									



【中学教員の兼務による小中交流音楽授業】



【中学教員による図工授業支援】